ジャンル：汎用スキル（QC，ものづくり，ビジネス）	形式：オンライン（Zoom より配信）　※リアルタイム配信	
アーカイブ配信：あり	テキスト：電子データを配信（ダウンロード）	講座 ID：　240327 01

ＤＲ（デザインレビュー）を上手く行うことで、効率的に開発設計が進み、顧客満足度も向上します。本講座では、ＤＲを活性化させるコツ（準備、進め方、各自の役割など）解説します。

DR(デザインレビュー)の効果的な実施方法

講 師： ＣＳ－ＨＫ 代表 上條仁 氏

品質技法コンサルタント。FMEA･DRBFM、FTA、QFD（品質機能展開）などを活用した未然防止や品質向上、発明的問題解決手法(TRIZ)、ISO9001、IATF16949 を専門とする。1983 年 ㈱**日立製作所**入社。半導体設計開発に従事した後、半導体グループ品質信頼性保証本部にて ISO/TS16949（現 IATF16949）を認証担当 兼 **全社品質改善活動担当として品質機能展開等の日立全社での普及･展開活動を推進する。**2002 年 ㈱日立製作所退社し、ＣＳ－ＨＫ設立。大手企業を中心に品質技法コンサルタントして活動中。著書には『本気で取り組む FMEA』（日刊工業新聞社）、『本当に役立つ TRIZ』（日刊工業新聞社･共著）、『常識をくつがえすモノづくり発想法講座』（工学研究社･共著）がある。

●日 程　2024 年 3 月 27 日（水） 13：00 ～16：30
●受講料　1 名 **22,000 円**（税込／テキスト） **※1/27（土）までにお申込の場合、17,600 円（2 割引）となります**

＜学べること＞
･DR の本来の意味･目的や ISO９００１との関係
･顧客対応や設計開発を効率化するための DR 活用の考え方
･自社の DR の課題と原因
･DR の効果的な実施のコツ
･FMEA や DRBFM の DR での活用方法
･実務者や管理職としての DR への対応、事前準備、役割

＜プログラム＞
Ⅰ．デザインレビュー本来の意味と目的
１．デザインレビューの目的･効果
２．デザインレビューの誤解：意味が無い、やりたくない原因は
３．効果のあるデザインレビューとは
４．ISO９００１の要求内容
５．デザインレビューの心構え
６．デザインレビューと顧客満足：設計検証と妥当性の確認の違いと必要性
Ⅱ．上手く進められない、形骸化してしまう、活用できない理由、原因、事情
１．実施時期について
２．議論と判定、DR 内容に対する出席メンバーの関係
Ⅲ．デザインレビューの効果的な進め方、道具、コツ
１．事前準備と報連相の必要性
２．課題や問題の視える化･共有化の必要性、その方法･道具
３．未然防止の考え方：FMEA･DRBFM と FTA の違い、使い分けによる有効化

＜講義概容＞
DR の取組み方に課題を感じていたり、何のために DR を実施しているのかわからないまま導入していたり、肝心の設計開発に活用できていないことに悩みを抱えている方は多いのではないでしょうか。DR は効果的に行うことにより、顧客満足を高め、また、設計開発を効率的に進めることができます。そういったことから ISO9001 で要求されています。しかしながら、DR の本来の意味を忘れ、ISO9001 のためだけに行っているうちに、次第に DR の機能や効果が薄れ、結果として DR が形骸化してしまっているという場合は往々にしてあります。また、FMEA や DRBFM を導入していても、DR 書類として作成しているだけで、本来の意味での有効活用がされていない場合も散見されます。
本講座では、DR の本来の意味や目的を再確認し、なぜ上手く進められないのか、活用できないのかを考えます。そして、自社の組織や事情に応じて、DR を無理なく効果的に行うコツやポイントを解説します。DR の教科書的な事細かな解説ではありません。要点を端的に述べ、そのために現場の実務者や管理職が取り組まなければならない点について、様々な事例を交えながら解説します。

＜お申込要項＞

FAX
03-6261-7924

下記に必要事項をご記入の上、FAX にてお申込みください　（※は必須です）

申込講座		2024/3/27　　DR（デザインレビュー）の効果的な実施方法		
会社名※				
所在地※ （請求書等の送付先）		〒		
参加者①	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
	会員登録	□ 登録する　□ 登録しない　（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）		
参加者②	氏名※		TEL※	
	所属※		FAX	
			役職	
	Email※		@	
	会員登録	□ 登録する　□ 登録しない　（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）		
支払方法※		□ 銀行振込（紙請求書）　□ 銀行振込（PDF 請求書）　□ カード支払い　□ 未定のため後日連絡する		
支払予定日※		□［　　］月［　　］日ごろを予定している　□未定のため後日連絡する		
備考※				

お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先：entry@tech-d.jp メール本文に＜①【申込講座】②【会社名】③【所在地】④【氏名】⑤【所属】⑥【Email】⑦【TEL】⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】＞をご記入の上、ご送信ください
C	Web	https://tech-d.jp/　の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします
③ 請求書等をお送りいたします

＜注意＞

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください
② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

お支払について

＜期日＞

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください
※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

＜方法＞

①銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）
②クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

【お振込先】

振込先銀行	三井住友銀行
支店	多摩センター支店（909）
口座番号	（普）０９７３５２２
名義	株式会社テックデザイン

主　催 申込・問合先	名　称	株式会社テックデザイン（　http://www.tech-d.jp/　）		
	住　所	〒102-0074　東京都千代田区九段南 3-9-14　九段南センタービル 5 階		
	電　話	03-6261-7920	FAX	03-6261-7924
	E-mail	entry@tech-d.jp　（申込）　/　info@tech-d.jp　（問合）		